

## 『現代女性とキャリア』 投稿規定ならびに執筆要項

(2011.10.25 委員会決定)

(2016.11.30 改訂)

### 【投稿規定】

1. 本誌は日本女子大学現代女性キャリア研究所の機関誌であって、原則として年一回発行とする。
2. 投稿資格は問わない。
3. 投稿は女性とキャリアに関する研究論文及び研究ノートとする。この場合のキャリアとは職業経歴だけでなく、社会の中での女性の「生き方」としてとらえることとする。研究ノートは、論文に準ずるもので、研究上の問題提起、研究プロジェクトの経過報告、他の著書・論文への批判・反論、外国書の紹介・批判などをテーマとする。
4. 投稿論文及び研究ノートは編集委員会が受理した後、査読委員の審査を受け、掲載の可否が決定される。
5. 投稿原稿は投稿規定を満たした未発表のものに限る。ただし、学会等で口頭発表したものについては、その限りではない。また、他誌との二重投稿は認めない。
6. 投稿者は原稿 2 部（氏名・所属入り 1 部、氏名・所属なし 1 部）を 2 月末日（当日消印有効）までに、編集委員会事務局に郵送で提出する。期日までに郵送されなかった原稿は一切受理しない。
7. 原稿は執筆要項にしたがって、必ずパーソナル・コンピュータの文書ソフトで作成する。
8. 投稿者は、査読結果返送用の封筒（A4 判が入る大きさの封筒に、返送先住所氏名を明記。切手は不要）、および以下の事項を記した別紙を、投稿原稿と一緒に編集委員会事務局に郵送で提出する。また、別紙の内容を投稿と同時に電子メールの本文に記して編集委員会事務局に送信する（添付フ

ァイルは不可）。

<別紙記載項目>

- ① 氏名（ふりがな）、ローマ字表記
  - ② 住所・電話番号
  - ③ 所属・職名
  - ④ 論文のタイトル
  - ⑤ 投稿の種別（論文／研究ノート）
  - ⑥ 電子メールアドレス
9. 掲載を認められた投稿者は、指示にしたがって修正したうえ、完成原稿をメールに添付するか、内容を保存した電子媒体（CD-ROM 等）を指定した期日までに提出する。完成原稿には、執筆者名、所属などを記載する。
  10. 論文の掲載順序は編集委員会が決定する。
  11. 本誌に掲載された論文の著作権はすべて本研究所に帰属し、本研究所ホームページ及び国立情報学研究所（CiNii）、日本女子大学学術情報レポジトリ上で電子化・公開される。
  12. 本誌を無断で複製あるいは転載することを禁ずる。

### 【執筆要項】

提出する原稿の形式は、以下の通りとする。

1. 執筆の形式
  - (1) 日本語表記とし、A4 判用紙を使用し、40 字×40 行、フォントは 10.5 明朝（章・節・項はコシック）と設定し印字する（縦書きを希望する場合は要相談）。なお、刷り上がりページは 20 字×40 行、2 段組みとする。
  - (2) 論文及び研究ノートは
    - 1) タイトル
    - 2) 英文タイトル
    - 3) 氏名、下にローマ字表記
    - 4) 英文要旨（200 語程度）
    - 5) 英語キーワード 3 つ（日本語訳付）
    - 6) 本文、図表等

- 7) 文末注
- 8) 文献
- 9) 所属

の順に構成し、総ページ数を論文は12ページ以内、研究ノートは10ページ以内とする。

### 3. 本文

(1) 本文中の見出しは以下の順でランクを統一する。

- |   |   |       |
|---|---|-------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>1.</li> <li>(1)</li> <li>1)</li> </ul> | } | 数字：全角 |
|---|---|-------|

(2) 年号は西暦表記を基本とする。

ただし、必要に応じて「昭和50年代」などの和暦表記を用いる。

(3) アラビア数字やアルファベットは半角にする。

(4) () 「」 『』 等のかっこは全角にする。

(5) 句点と句読点は「、」「。」を用いることとする(英文要旨には「,」「.」を用いる)。

### 4. 図表等

(1) 図・表等を挿入する場合、原稿の該当箇所に挿入もしくは添付する。

(2) 他の著作物からの引用は、出典を明記し、必要に応じて著作権保持者から許可を得る。

(3) 図・表は、それぞれに通し番号をつけ、タイトルをつける。

例 図1、表1

図 - 1、表 - 1

### 5. 注記、文献

(1) 注記は該当箇所の右肩に通し番号を付し、注は本文末尾に一括する。

(2) 引用・文献は、原則として次の方式によって記載する。

① 文献を一括してアルファベット順に並べたリストを作成し、末尾に付す。

② 文献注は、原則として文献リストへの参照指示という形で記す。すなわち、本文や注の該当箇所に、(著者名(姓)西

暦発行年「:」ページ)を記して、文献リストの該当文献の参照を指示する形式をとる。

③ 文献記載および配列の方法(形式)は指定しないが、論文の中で統一する。

例・書籍：著者名，出版年，『タイトル-サブタイトル』出版社名。

・雑誌論文：著者名，出版年，「論文名」『掲載誌名』巻(号)，掲載ページ。

・編書論文：論文著者名，出版年，「論文名」編者名『編書タイトル-サブタイトル』出版社名，掲載ページ。

・翻訳書：著者ファミリーネーム，ファーストネーム他，出版年，タイトル：サブタイトル，出版社名。

(=出版年，訳者名『訳書タイトル-サブタイトル』出版社名)

・欧文書籍：著者ファミリーネーム，ファーストネーム他，出版年，タイトル：サブタイトル，出版社。

・欧文雑誌論文：著者ファミリーネームファーストネーム他，出版年，“論文タイトル：サブタイトル”，掲載誌タイトル：サブタイトル，巻(号)，掲載ページ。

④ 欧文の場合は書名・雑誌名をイタリック体にする。

⑤ 同一著者が同一年に発行した複数の文献は、発行年を2009a、2009bのように表記して区別する。